

第9分科会「健全育成」の運営概要

【研究課題】「児童の健全育成と危機管理の推進における校長の在り方」

【研究の視点】(1) いじめや不登校等を生まない学校づくりの推進

(2) 危機管理に強い組織育成のための意図的・計画的な取組の推進

I 分科会研究協議の運営計画

校長は、教育目標を達成するために欠くことのできない重要な機能の一つとして健全育成をとらえ、教育課程における特定の領域や内容に偏ることなく、学校の教育活動全てにわたって十分に作用させるようにすることが必要である。また、日常的に起こりうる危機を想定した家庭・地域・各関係機関との連携・協働体制を確立しておくとともに、あらゆる教育活動の場面で、全教職員の協働的な取組を展開するようにリーダーシップを発揮することが求められている。

そこで、第9分科会では以下の2つを視点として研究課題を追求していく。

いじめや不登校を生まない社会を実現していくためには、全ての子どもの人権が尊重され、自己実現の喜びを味わえ、安全で安心できる居場所となる学校を目指した教育活動を展開していく必要がある。

また、危機管理に強い学校組織を構築するためには、学校は、未然防止と再発防止の二つの視点から、日常的に起こりうる危機を想定した家庭・地域・各関係機関との連携・協働体制を確立しておく必要がある。

そこで、この二つの視点から、討議の柱を次のようにし最終的な話し合いの目的とした。

討議の柱…「家庭・地域・教育関係機関と連携を図った、健全な児童の育成を目指す組織体制づくりの推進における校長のリーダーシップ」

〈研究の視点1に関わって〉

- ・児童の悩みや相談を学校全体で取り上げる組織的な取組
- ・児童にかかわる幅広い情報収集と多面的な理解を図る取組
- ・生徒指導の機能を生かし、関わり合う力を育む教育活動の推進

〈研究の視点2に関わって〉

- ・関係諸機関との情報共有や連携を重視した組織的な指導の推進
- ・地域・家庭・関係諸機関との連携を図り、児童の自主性と連帯性を育む取組

II これまでの成果と課題(十勝大会第9分科会より)

- 市町村校長会が、市町村の教育課題を共通化し、解決のためのコーディネートを行うことで、地域が主体となった健全育成の一翼を担うことができた。
- 校長会が市町村教育委員会と連携を強め、組織・予算等への提言を行い、より機動的な組織体制を構築することが重要であることが確認できた。
- 校長が教職員や保護者に連携の必要性を示して、理解と協力を求めることで、小中や小小、幼保小中の連携により見通しと共通性のある指導を目指し、幼保小中の壁を乗り越えた具体的な個別支援体制を充実させることが重要であることが確認できた。
- 学校だけで抱えようとする傾向から、幅広く地域関係者の力を借りることで、多様な目線で子どもたちの健全育成に寄与することが確認できた。
- 関係機関との連携において、校長会が基本構想や方針等を提示してネットワーク体制を編成し、機動的・実効的に対応することの重要性が確認できた。
- 校長会が体制づくりの方針を示し、教職員がボランティア的に担っている社会教育活動を地域に移行するなど、地域連携を主体としたネットワーク等の体制づくりが重要であることが確認できた。
- 情報交換で終わらず、校長会組織としての対応、取組が重要であること。構成員が替わっても、校長会としての引継ぎを確実にする必要がある。
- 小中連携においては、更に幼保小中高までも見通して、連携による学校運営や研修活動、教育活動を意図的・計画的に進めていくことが重要である。そのためには、校長のより一層のリーダーシ

トップの発揮と風通しの良い職員集団づくりを進め、より具体的な提起を行う必要がある。また、ミドルリーダーの役割を生かすことも重要である。

- ネットワーク等の体制の構築には、各事業を統括している教育委員会との連携が欠かせない。そのために校長自ら連携に努め、職員にもその姿勢をもたせることが重要である。また、学校と関係機関との単なる情報交換だけではなく、相互に連携して一体的な対応を行うこと（行動連携）が重要である。そのことを認識し、校長（会）として問題解決に向けた体制づくりに取り組むことが必要である。

Ⅲ 研究発表の概要

研究発表者 旭川地区 旭川市立旭川小学校長 古 高 誠 志

発 表 題 「子どもを健やかに育てる学校運営と
家庭・地域、関係機関等との協働体制づくり」

【発表の要旨】 旭川市小学校長会における、健全育成の推進に向けた校長の指導性の発揮の視点やこれまでの実践例を通して、学校運営を一層充実させるための校長の果たすべき役割と指導性の在り方を明らかにする。

健全育成の充実を図る学校運営・校内体制づくりや家庭・地域・教育関係機関等との連携・協働体制づくりの実践事例を通して、組織体制の課題や、組織づくりの指導性を発揮する校長としてリーダーシップについて研究協議します。参加者の持ち寄った、校内体制づくりの実践例や地域連携・他機関との支援体制・小中連携等、組織連携における校長としての指導性の在り方等の交流を通して、課題の解明にあたりたいと考えています。

○校長の指導性を発揮した学校運営・校内体制づくり

・経営方針への位置付けや、学校全体で取り組む組織的な校内体制の構築

○相互連携を図った家庭・地域・教育関係機関等との連携・協働体制づくり

・家庭・地域・教育関係機関との情報共有、意図的・計画的な小中連携の取組

Ⅳ 協議の流れ

1	開会のことば	… 2分	(13:00～13:02)
2	担当者の紹介	… 2分	(13:02～13:04)
3	司会者挨拶	… 3分	(13:04～13:07)
	● 日程確認・グループ編成等について		
4	グループ内で名刺交換	… 3分	(13:07～13:10)
5	趣旨説明	… 10分	(13:10～13:20)
6	研究発表	… 20分	(13:20～13:40)
7	情報交流・質疑応答	… 15分	(13:40～13:55)
8	研究協議Ⅰ		
	● グループ討議	… 60分	(13:55～14:55)
9	休憩	… 15分	(14:55～15:10)
10	研究協議Ⅱ		
	● 全体討議	… 65分	(15:10～16:15)
11	研究協議のまとめと今後の課題	… 10分	(16:15～16:25)
12	閉会のことば	… 5分	(16:25～16:30)

第9分科会参加の校長先生方へお願い

児童の健全育成を図る学校運営・校内体制づくりや地域・家庭・関係機関との連携・協働体制づくりにおける校長のリーダーシップが課題となっています。そこで、参加される皆様の学校では、学校運営、組織体制づくり、家庭や地域、関係機関連携の支援体制、小中連携等で、校長として苦慮されていることはありませんか。その辺を、ぜひ交流し合いましょう。

参加される方々は、各管内、各市町村、各学校等の児童の健全育成に向けた、学校運営・校内体制の組織づくり、家庭・地域連携・他機関との協働体制づくり、意図的・計画的な小中連携教育の取組等、校長としての指導性を発揮したリーダーシップの実践をまとめたものを小グループ(6～7名)の人数分をプリント化して持参してください。